

校務システムを活用した学校事務の改善

ー 校務支援システム「スクールオフィス」の活用 ー

東日本システム建設株式会社 新潟システム事業本部 ソリューション事業部 佐藤 浩治

koji-s@tosys.co.jp

<http://www.tosys.co.jp/>

<http://schooloffice.jp/>

キーワード：校務の情報化, 情報管理, 情報共有, P T A連携, 緊急メール, 安心安全

1. はじめに

弊社東日本システム建設㈱は、学校現場に携わる教職員の方々が、学校業務（以下「校務」と示す）の中で、非常に時間を費やしているデスク上での事務作業を、システム化する事により、校務の事務処理作業に要する時間を短縮化させ、それらで生み出された充当時間を生徒や児童に時間を返す事を目的として、校務支援システム「スクールオフィス」の開発・販売を行なっています。

校務支援システムとは、学校の基本情報（人・教科・時間）を核とした情報管理・共有、教務（先生の事務処理業務）、学務（学校事務担当者の業務）、保健（養護教員の業務）など校務全般を、データベースサーバを用いて校務全てのデータを一元化させ、全ての教職員がデータの検索、登録、修正、印刷、削除等の操作を簡単に行う事ができ、校務における事務処理時間の短縮化、効率化を図ります。

ここでは「スクールオフィス」を実際に導入している学校の活用事例、導入効果などを述べさせていただきます。

2. 「スクールオフィス」の主な特徴

- 学校の事務作業を全てパッケージ化しました。
- 現場の先生からのご意見を頂きながら生まれたシステムです。
- 地域の公共ネットワークなどを利用した学級間の情報共有や、インターネットによるP T Aへの情報提供（学校だよりや、公共機関からの緊急メールを一斉送信など）ができます。
- クライアントP Cはブラウザのみで利用でき、インストール作業などが不要です。
- 豊富な機能の中から、ログインした先生ごとに必要なメニューを個別表示できます。

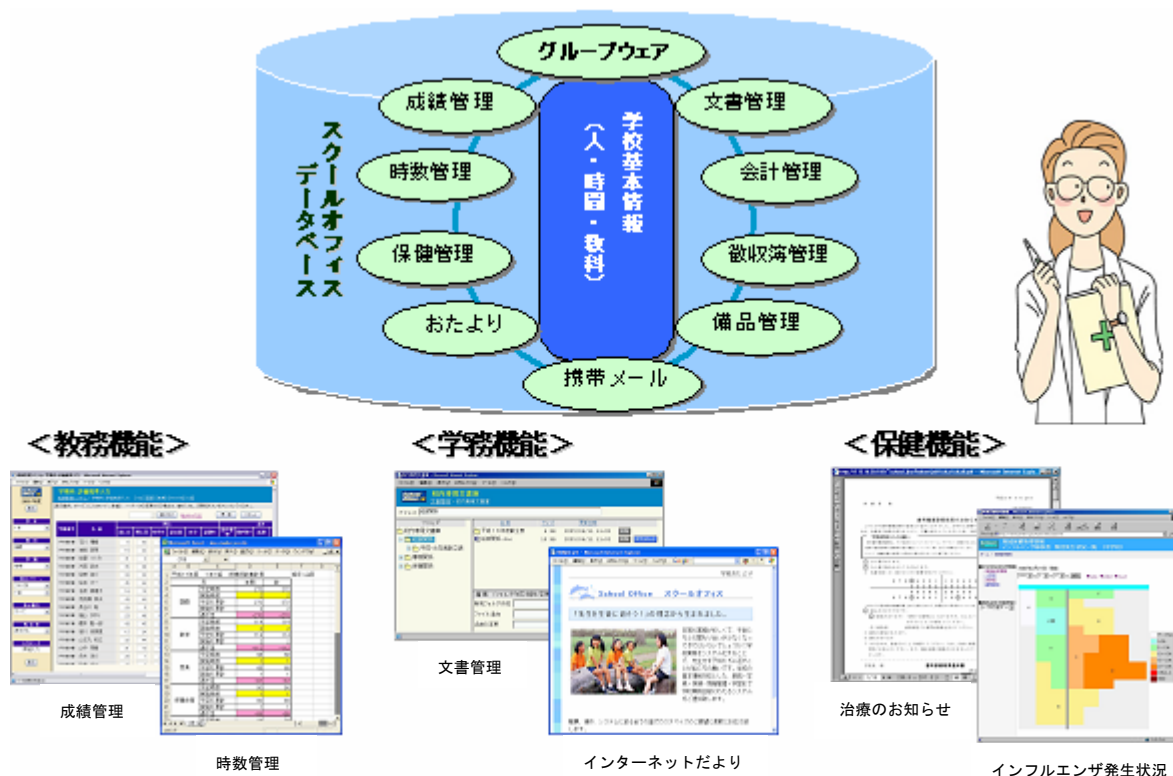


図1 「スクールオフィス」の機能構成

3. 具体的な活用例

新潟県上越市では平成8年から上越地域における学校の情報化をめざし、上越市、市教委、上越教育大学、県立看護短大などによって上越教育ネットワーク研究会が組織され、上越市を含む上越地域の小中高校教職員のほとんど全員がメールアカウントを持ち、ネットワークにつながったコンピュータ端末を利用するまでに至っております。その後、郵政省・文部省（当時）共同事業である学校インターネット事業などにも参加し、ブロードバンドでの利用環境を整えてきました。

こうした環境の中で、校務の情報化に向けた動きは、NPO法人・上越地域学校教育支援センター（JSIRC）が中心となり、上越教育大学の指導の下、教員をはじめ 事務職員、養護教員などの実践活動となり、推進されています。平成14年4月に上越市の公立の小中学校に「スクールオフィス」が一部導入され、平成17年1月1日に、上越市は近隣13町村と合併し、公立の小中学校も76校と拡大されたことを機に、全校に「スクールオフィス」の各管理システムが導入活用されています。

4. 導入後の教職員に対する効果

- ITリテラシー（ITに対する知識や利用能力）の向上効果。
- 児童・生徒への還元効果。
- 成績処理関連業務の年間相当実施時間は20%以上削減。
- 負担感や実施時間の削減効果はデータ集計や転記に関する部分に集中。

5. まとめ

- 教育委員会や学校が連携した開発（カスタマイズ）が必要。
- 十分な導入準備時間の確保が必要。
- ネットワークによる情報共有とセキュリティへの配慮が必要。
- サポート費用の確保が必要。
- 教職員用パソコン一人一台体制実現に向けた整備。

6. 「PTAメール配信システム」のリリース

- 概要： 携帯電話やパソコンのメール機能を用いて、保護者へ一斉送信。
- 特徴：
 - 緊急メール受信時、**警告灯と連動！！**
 - メール受信した保護者の開封確認や、QRコードによる携帯メールアドレス登録。
- 活用方法：
 - ◆ 防災、災害、不審者情報、事故情報等の緊急通達時に有効！！
 - ◆ クラブ活動、学級だより、学級連絡などにもメール配信で有効活用。

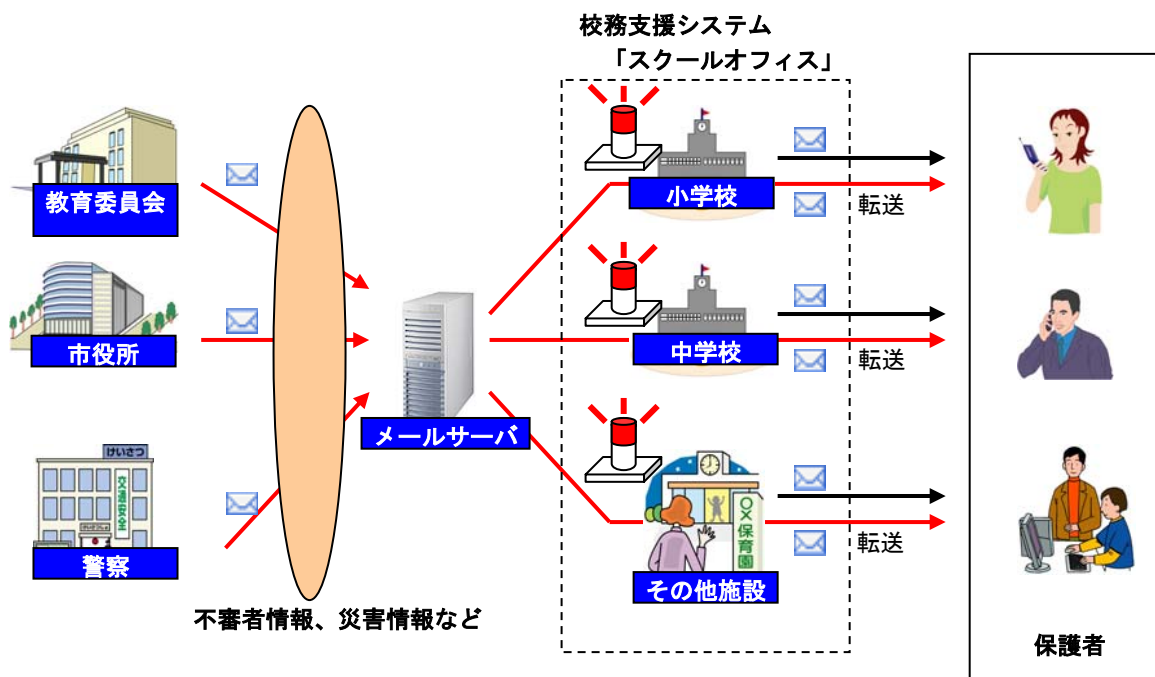


図2 「PTAメール配信システム」イメージ図